

保護者の皆様

学校教育評価アンケート（後期）結果

千葉県立更科小学校
校長 井上 朝子

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本校の学校教育目標「心豊かで実践力のある子どもの育成」に向けた前期教育活動を振り返るために、先日ご協力いただいた「更科小学校の教育に関する評価アンケート」の集計結果をまとめましたのでお知らせいたします。

4：そう思う 3：少しそう思う 2：あまり思わない 1：そう思わない

番号	評価の観点	児童		保護者	
		前期	後期	前期	後期
「かしこい子」について					
1	主体的な学習	3.4	3.5	2.9	2.9
		3.5	3.7		
2	読書への関心、意欲、態度（読書習慣）	3.1	3.2	3.0	3.0
3	基礎・基本の充実	3.3	3.4	2.9	3.3
4	対話的で深い学び、表現力	3.2	3.2	2.7	3.0
「思いやりのある子」について					
5	学校生活の充実	3.5	3.7	3.4	3.5
6	思いやり	3.2	3.5	3.5	3.4
7	主体的な挨拶	3.5	3.5	3.0	3.2
8	周囲との協調とよりよい人間関係	3.5	3.6	3.3	3.4
		3.2	3.4		
「たくましい子」について					
9	好ましい生活習慣や食習慣	3.4	3.7	3.1	3.1
		3.2	3.3		
10	体力づくりの充実	3.0	3.3	3.0	3.1
11	ねばり強さ	3.1	3.3	2.7	2.9
12	健康で安全な生活の推進	3.6	3.6	3.2	3.3

本校のめざす児童像である『かしこい子』『思いやりのある子』『たくましい子』の具現化のための項目について、各観点において、前期よりも保護者・児童ともに3.0以上の評価をいただく項目が多く見られました。更に、前期よりも評価が向上した項目が半数以上ありました。

『かしこい子』では、「基礎・基本の充実」と「対話的で深い学び、表現力」の項目で、特に向上が見られました。定期的実施している漢字・算数マスターテストを通して、繰り返し練習することで学力を伸ばしている児童も多く見られます。また、今年度の校内研究で取り組んだ「学習の振り返り活動」は、次の学習の意欲へとつながり、習慣化されてきました。このような学習活動を次年度も引き続き行い、児童の学力向上を目指していきます。

『思いやりのある子』においては、各項目で前期とほぼ同様でした。なかよし班活動では、上級生がリーダーとなってグループで楽しく活動しています。休み時間はさまざまな学年の児童が集まって外で元気に遊ぶ姿が見られます。小規模校で人間関係が限られるというデメリットはありますが、発達段階に合わ

せた関わりをもつことでよりよい人間関係を築けるように、子どもたちの心を育てていきます。

『たくましい子』については、各項目で前期とほぼ同様でした。5・6年生の球技大会での活躍がよい影響を与えているようです。ご家庭での応援やご協力のおかげです。大会後、寒空の下でも業間や昼休みに校庭に出て、バスケやサッカーを楽しむ児童が増えました。高学年を中心に球技の楽しさを知り、自信をつけたことが大きな要因だと分析します。次年度も全校児童が楽しみながら体力を高めるような工夫をまいります。

「学校教育方針」について		保護者	
		前期	後期
13	道徳性や社会性の育成への取組	3.5	3.4
14	学力の向上への取組	3.4	3.4
15	健康・安全教育の充実と運動能力・体力の伸長への取組	3.5	3.5
16	一人一人を認める教育の推進	3.4	3.6
17	「いじめ」や「不登校」などの課題への対応と相談活動の充実	3.2	3.3
18	校舎内外の生活環境や学習環境の整備	3.5	3.6
19	学校からの情報発信の工夫	3.3	3.6
20	学校と家庭、地域との連携	3.1	3.4

『学校教育方針』について、「学校からの情報発信の工夫」と「学校と家庭、地域との連携」で0.3ポイントの伸びがありました。学校全体として日頃から家庭や地域との連携を意識してまいりましたが、今後も連絡を密にしなが、子どもたちの育成に努めていきたいと思ひます。次年度もさらに地域、保護者の皆様に満足いただけるよう、工夫改善を重ねてまいります。

「本校の教育活動を進めていく上で、参考になることがあればお書きください」に寄せられた内容について

「個に応じた学習指導」、「補助教員やLD教室の設置」、「少人数ならではのメリットを活かした学習」について、ご意見をいただきました。

「個に応じた学習指導」の宿題については、「家庭学習をする習慣がついた」「皆が同じ量の宿題」等のご意見がありました。お子様によっては宿題の量が相応であったり負担になったりする場合があります。その場合は、学級担任や学校内の特別支援コーディネーター（教務主任）までご相談ください。お子様に合った学習方法を一緒に考えてまいります。

「補助教員やLD教室の設置」についてですが、学級への支援員は限りがあるため、ご要望に沿えず申し訳ございません。また、若葉区では他校にLD教室が設置されており、本校の設置は難しい状況にあります。児童数が少ないため配置や設置は厳しい現状ですが、少人数であっても必要であることを関係機関に引き続き要望するとともに、校内での支援体制を整えてまいります。

「少人数ならではのメリットを活かした学習」についてご意見をいただきました。次年度は更に児童数が減るため、ご指摘のとおり学習活動の工夫が必要です。これまで行ってきた教育活動の改善を図るとともに、少人数だからこそできるメリットを最大限活かし校内体制を整えて子どもたちの学力向上を目指してまいります。

また、他にも「高学年で行事に積極的に関わることで成長が感じられた」というご意見や「最近注目されている教育現場での取組」についてご提言をいただき、指導の参考になりました。貴重なご意見をありがとうございました。

ご多用のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

保護者の皆様の温かい感想やご意見をうれしく感じるとともに、日々の学校生活への様々なご協力には教職員一同感謝申し上げます。これからも、学校へのご意見やご要望等がありましたら、その都度学校へお寄せいただければ幸いです。

